特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議　庭園部会（第 22 回）

日時：令和 2 年 2 月 10 日（月）13:00～15:30

場所：西之丸会議室

次　　第

1　開会

2　あいさつ

3　名勝名古屋城二之丸庭園整備計画について　　･･･資料１

4　令和 2 年度修復整備工事について

5　その他

6　閉会

特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議 庭園部会（第 22 回）出席者名簿

日時：令和 2 年 2 月 10 日（月）13:00～15:30

場所：西之丸会議室

（敬称略）

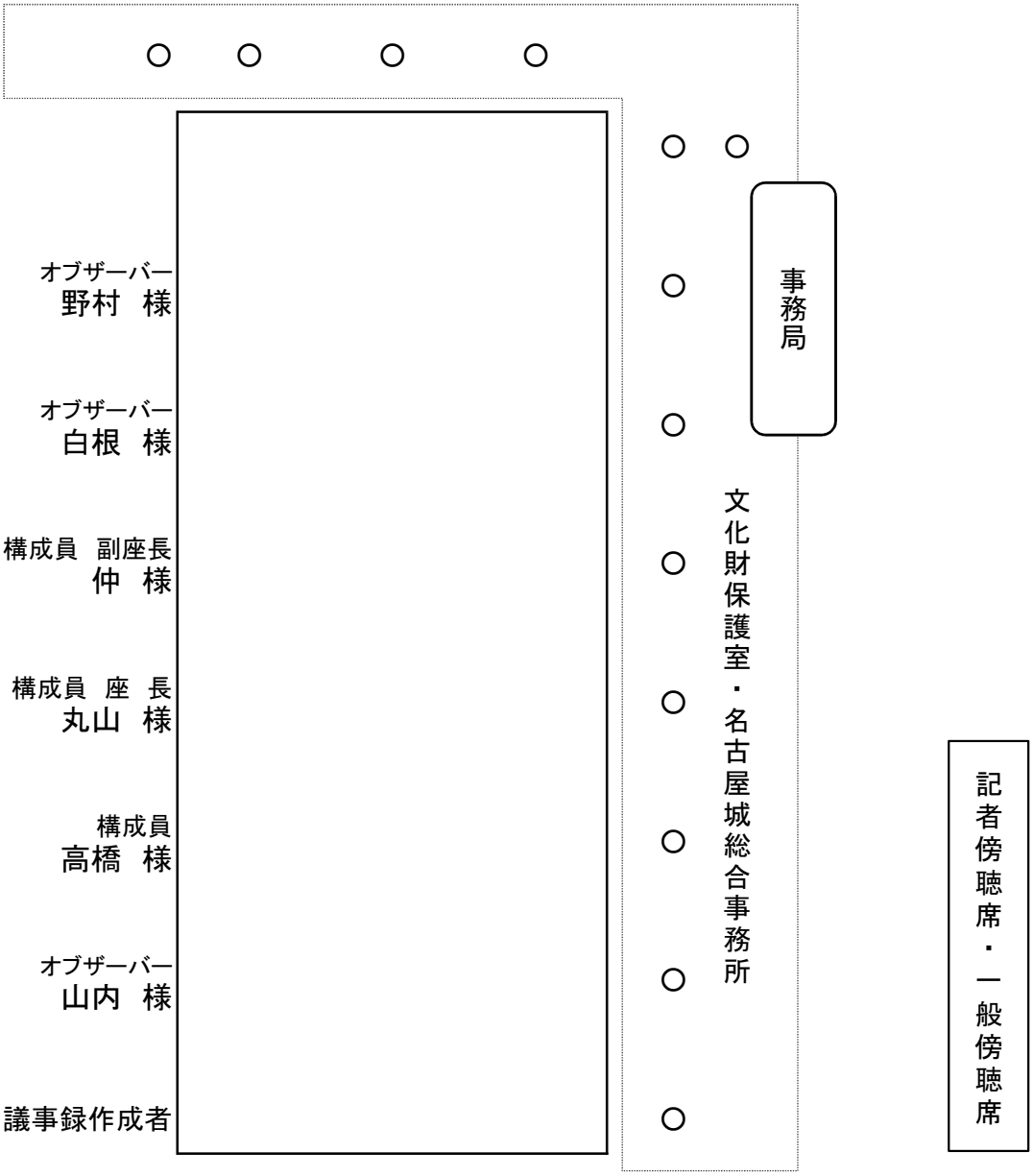
■構成員

氏　名	所　属	備考
丸山　宏	名城大学教授	座長
仲　隆裕	京都造形芸術大学教授	副座長
高橋　知奈津	奈良文化財研究所研究員	構成員

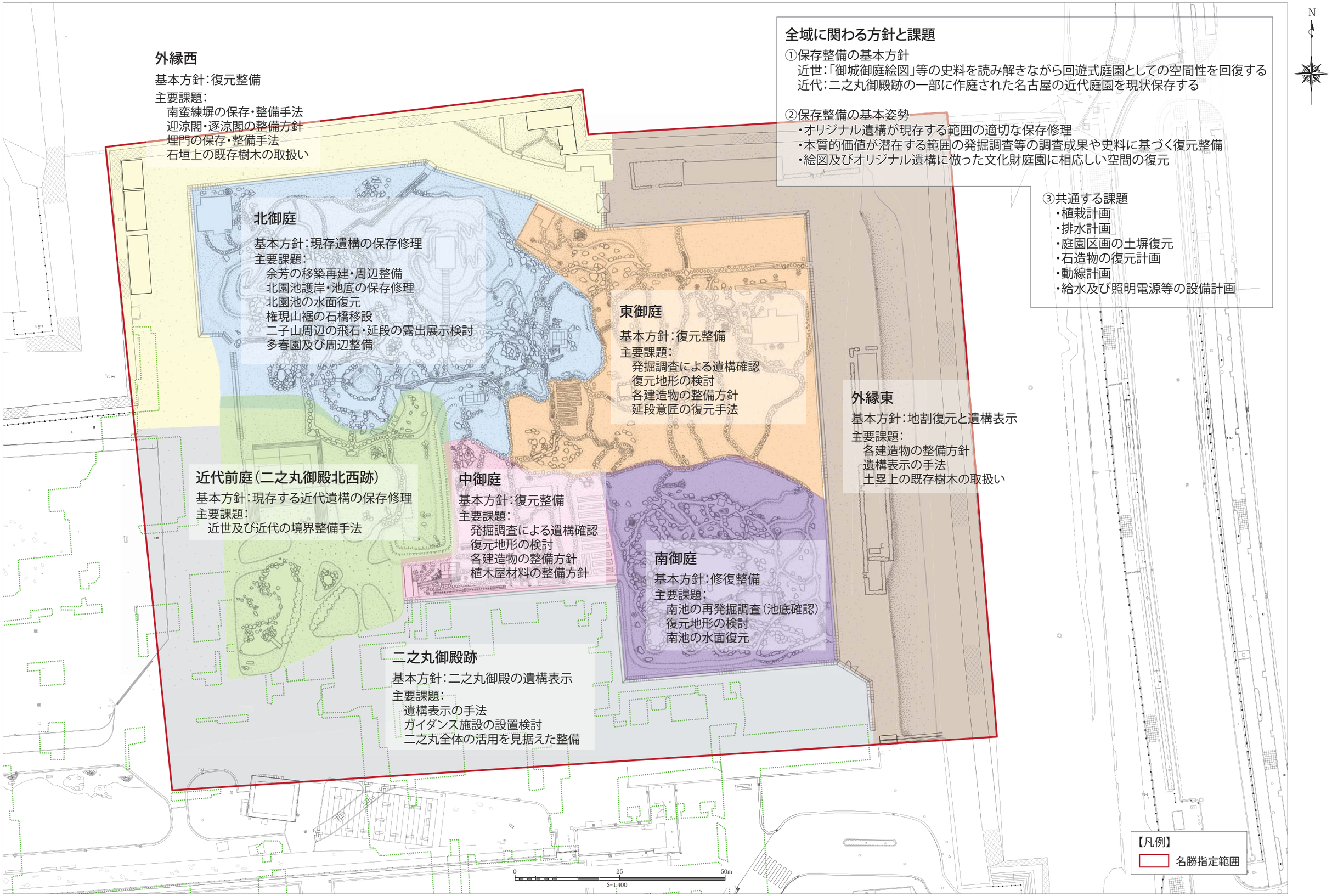
■オブザーバー

氏　　名	所　属
白根　孝胤	中京大学教授
山内　良祐	愛知県教育委員会生涯学習課 文化財保護室主事
野村　勘治	有限会社野村庭園研究所

座 席 表


事務局
文化財保護室・名古屋城総合事務所
オブザーバー
野村 様
オブザーバー
白根 様
構成員 副座長
仲 様
構成員 座 長
丸山 様
構成員
高橋 様
オブザーバー
山内 様
議事録作成者
記者傍聴席・一般傍聴席

1.名勝名古屋城二之丸庭園整備計画（地割区分別基本方針及び主要課題）



全域に関わる方針と課題

①保存整備の基本方針
近世：「御城御庭絵図」等の史料を読み解きながら回遊式庭園としての空間性を回復する
近代：二之丸御殿跡の一部に作庭された名古屋の近代庭園を現状保存する

②保存整備の基本姿勢
・オリジナル遺構が現存する範囲の適切な保存修理
・本質的価値が潜在する範囲の発掘調査等の調査成果や史料に基づく復元整備
・絵図及びオリジナル遺構に倣った文化財庭園に相応しい空間の復元

③共通する課題
・植栽計画
・排水計画
・庭園区画の土塀復元
・石造物の復元計画
・動線計画
・給水及び照明電源等の設備計画

外縁西

基本方針：復元整備
主要課題：
南蛮練塀の保存・整備手法
迎涼閣・逐涼閣の整備方針
埋門の保存・整備手法
石垣上の既存樹木の取扱い

北御庭

基本方針：現存遺構の保存修理
主要課題：
余芳の移築再建・周辺整備
北園池護岸・池底の保存修理
北園池の水面復元
権現山裾の石橋移設
二子山周辺の飛石・延段の露出展示検討
多春園及び周辺整備

東御庭

基本方針：復元整備
主要課題：
発掘調査による遺構確認
復元地形の検討
各建造物の整備方針
延段意匠の復元手法

外縁東

基本方針：地割復元と遺構表示
主要課題：
各建造物の整備方針
遺構表示の手法
土塁上の既存樹木の取扱い

近代前庭（二之丸御殿北西跡）

基本方針：現存する近代遺構の保存修理
主要課題：
近世及び近代の境界整備手法

中御庭

基本方針：復元整備
主要課題：
発掘調査による遺構確認
復元地形の検討
各建造物の整備方針
植木屋材料の整備方針

南御庭

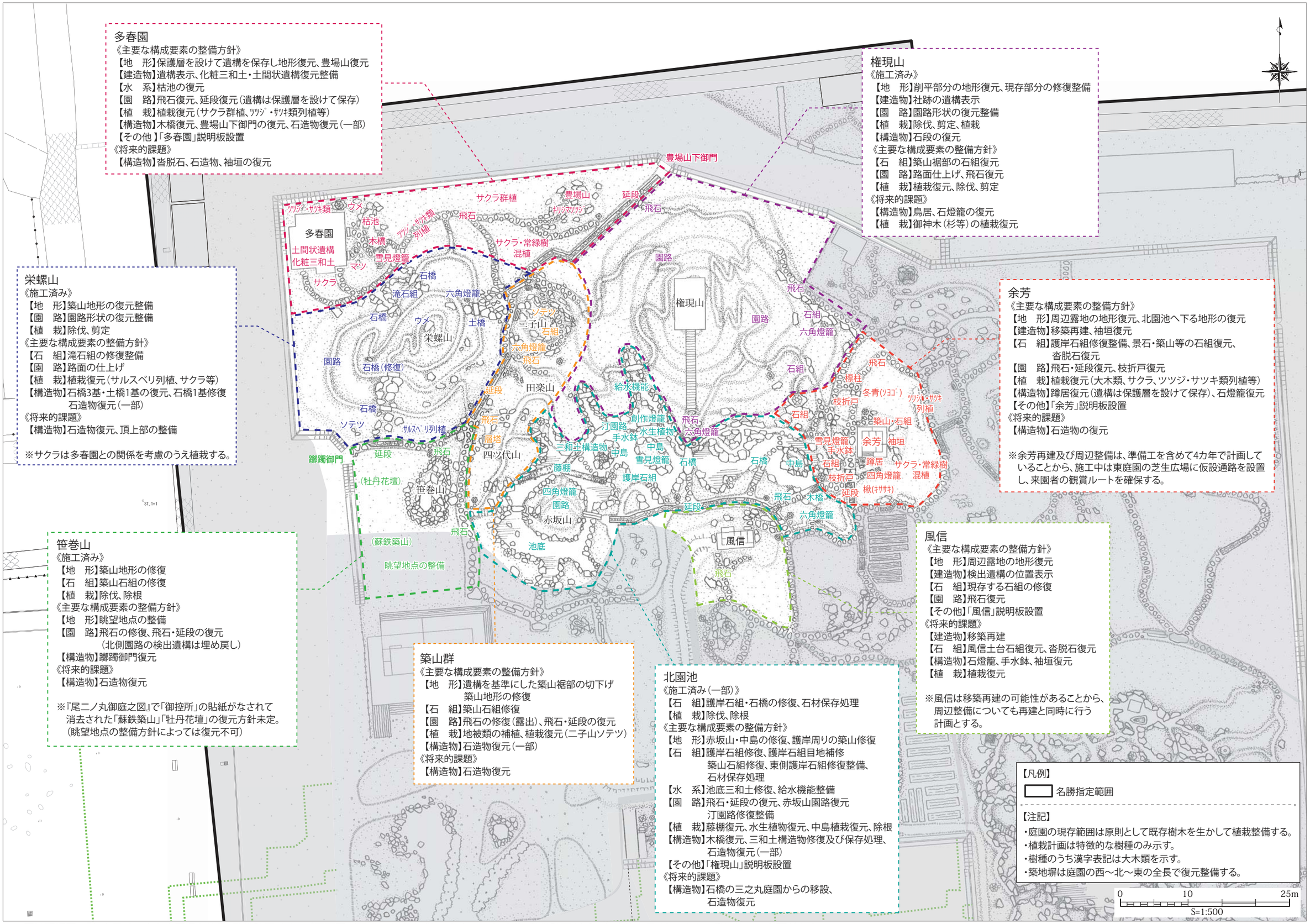
基本方針：修復整備
主要課題：
南池の再発掘調査（池底確認）
復元地形の検討
南池の水面復元

二之丸御殿跡

基本方針：二之丸御殿の遺構表示
主要課題：
遺構表示の手法
ガイダンス施設の設置検討
二之丸全体の活用を見据えた整備

※下図は現況図と「名古屋城二之丸庭園保存修復・整備計画イメージ平面図」（平成25年度作成）の合成である。今後、整備計画（令和2年度策定予定）の内容を受け修正の必要がある。

2-1. 地割区分別整備計画 項目一覧図／北御庭



多春園
《主要な構成要素の整備方針》
【地　形】保護層を設けて遺構を保存し地形復元、豊場山復元
【建造物】遺構表示、化粧三和土・土間状遺構復元整備
【水　系】枯池の復元
【園　路】飛石復元、延段復元（遺構は保護層を設けて保存）
【植　栽】植栽復元（サクラ群植、ﾂﾂｼﾞ・ｻﾂｷ類列植等）
【構造物】木橋復元、豊場山下御門の復元、石造物復元（一部）
【その他】「多春園」説明板設置
《将来的課題》
【構造物】沓脱石、石造物、袖垣の復元

権現山
《施工済み》
【地　形】削平部分の地形復元、現存部分の修復整備
【建造物】社跡の遺構表示
【園　路】園路形状の復元整備
【植　栽】除伐、剪定、植栽
【構造物】石段の復元
《主要な構成要素の整備方針》
【石　組】築山裾部の石組復元
【園　路】路面仕上げ、飛石復元
【植　栽】植栽復元、除伐、剪定
《将来的課題》
【構造物】鳥居、石燈籠の復元
【植　栽】御神木（杉等）の植栽復元

栄螺山
《施工済み》
【地　形】築山地形の復元整備
【園　路】園路形状の復元整備
【植　栽】除伐、剪定
《主要な構成要素の整備方針》
【石　組】滝石組の修復整備
【園　路】路面の仕上げ
【植　栽】植栽復元（サルスベリ列植、サクラ等）
【構造物】石橋3基・土橋1基の復元、石橋1基修復
石造物復元（一部）
《将来的課題》
【構造物】石造物復元、頂上部の整備

※サクラは多春園との関係を考慮のうえ植栽する。

余芳
《主要な構成要素の整備方針》
【地　形】周辺露地の地形復元、北園池へ下る地形の復元
【建造物】移築再建、袖垣復元
【石　組】護岸石組修復整備、景石・築山等の石組復元、
沓脱石復元
【園　路】飛石・延段復元、枝折戸復元
【植　栽】植栽復元（大木類、サクラ、ツツジ・サツキ類列植等）
【構造物】蹲居復元（遺構は保護層を設けて保存）、石燈籠復元
【その他】「余芳」説明板設置
《将来的課題》
【構造物】石造物の復元

※余芳再建及び周辺整備は、準備工を含めて4カ年で計画していることから、施工中は東庭園の芝生広場に仮設通路を設置し、来園者の観賞ルートを確保する。

笹巻山
《施工済み》
【地　形】築山地形の修復
【石　組】築山石組の修復
【植　栽】除伐、除根
《主要な構成要素の整備方針》
【地　形】眺望地点の整備
【園　路】飛石の修復、飛石・延段の復元
（北側園路の検出遺構は埋め戻し）
【構造物】躑躅御門復元
《将来的課題》
【構造物】石造物復元

※『尾二ノ丸御庭之図』で「御控所」の貼紙がなされて消去された「蘇鉄築山」「牡丹花壇」の復元方針未定。
（眺望地点の整備方針によっては復元不可）

築山群
《主要な構成要素の整備方針》
【地　形】遺構を基準にした築山裾部の切下げ
築山地形の修復
【石　組】築山石組修復
【園　路】飛石の修復（露出）、飛石・延段の復元
【植　栽】地被類の補植、植栽復元（二子山ソテツ）
【構造物】石造物復元（一部）
《将来的課題》
【構造物】石造物復元

北園池
《施工済み（一部）》
【石　組】護岸石組・石橋の修復、石材保存処理
【植　栽】除伐、除根
《主要な構成要素の整備方針》
【地　形】赤坂山・中島の修復、護岸周りの築山修復
【石　組】護岸石組修復、護岸石組目地補修
築山石組修復、東側護岸石組修復整備、
石材保存処理
【水　系】池底三和土修復、給水機能整備
【園　路】飛石・延段の復元、赤坂山園路復元
汀園路修復整備
【植　栽】藤棚復元、水生植物復元、中島植栽復元、除根
【構造物】木橋復元、三和土構造物修復及び保存処理、
石造物復元（一部）
【その他】「権現山」説明板設置
《将来的課題》
【構造物】石橋の三之丸庭園からの移設、
石造物復元

風信
《主要な構成要素の整備方針》
【地　形】周辺露地の地形復元
【建造物】検出遺構の位置表示
【石　組】現存する石組の修復
【園　路】飛石復元
【その他】「風信」説明板設置
《将来的課題》
【建造物】移築再建
【石　組】風信土台石組復元、沓脱石復元
【構造物】石燈籠、手水鉢、袖垣復元
【植　栽】植栽復元

※風信は移築再建の可能性があることから、周辺整備についても再建と同時に行う計画とする。

【凡例】
名勝指定範囲

【注記】
・庭園の現存範囲は原則として既存樹木を生かして植栽整備する。
・植栽計画は特徴的な樹種のみ示す。
・樹種のうち漢字表記は大木類を示す。
・築地塀は庭園の西～北～東の全長で復元整備する。

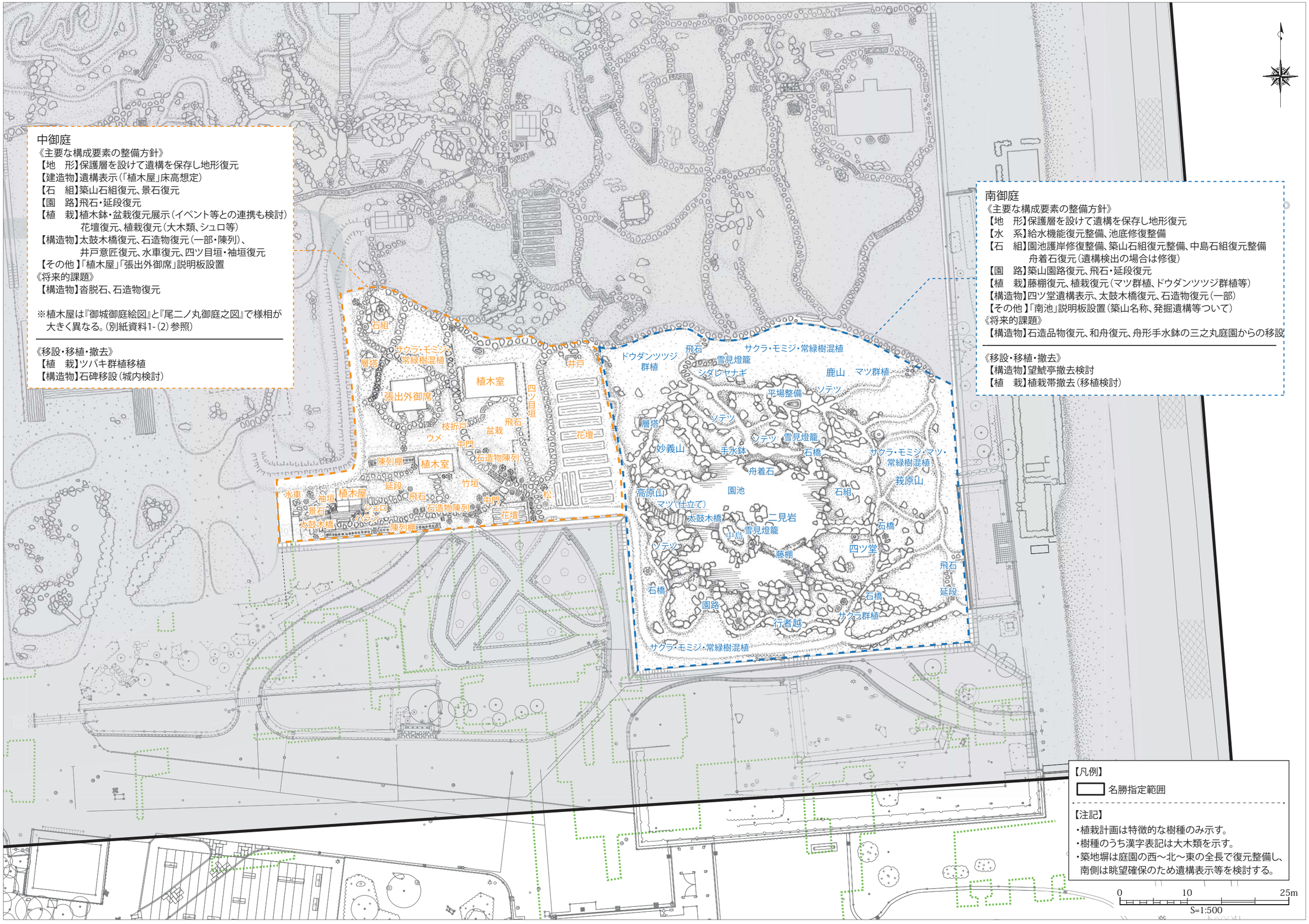
0　10　25m
S=1:500

※下図は現況図と「名古屋城二之丸庭園保存修復・整備計画イメージ平面図」（平成25年度作成）の合成である。今後、整備計画（令和2年度策定予定）の内容を受け修正の必要がある。

2-2. 地割区分別整備計画 項目一覧図／東御庭

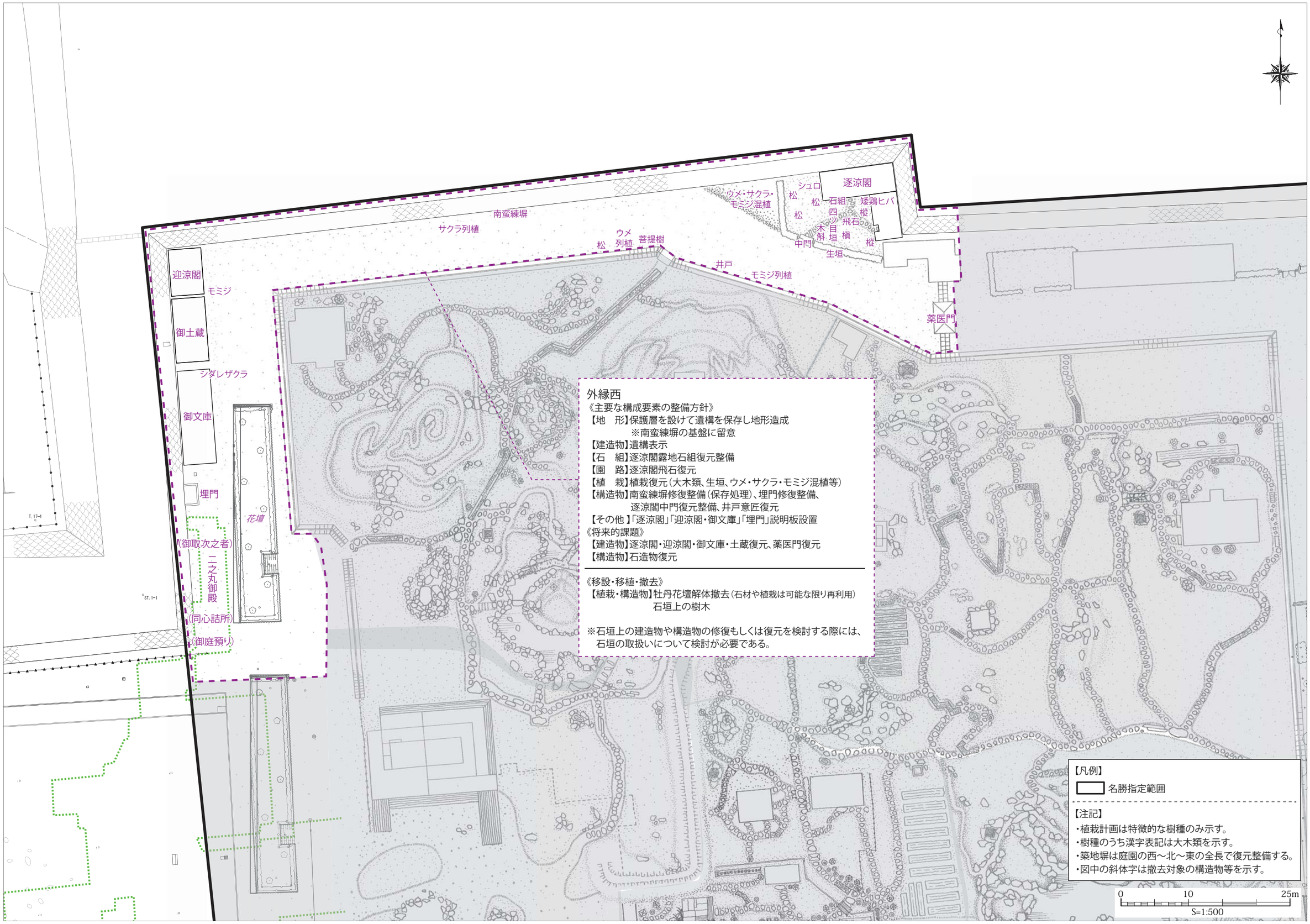
※下図は現況図と「名古屋城二之丸庭園保存修復・整備計画イメージ平面図」（平成25年度作成）の合成である。今後、整備計画（令和2年度策定予定）の内容を受け修正の必要がある。

2-3. 地割区分別整備計画 項目一覧図／南御庭・中御庭



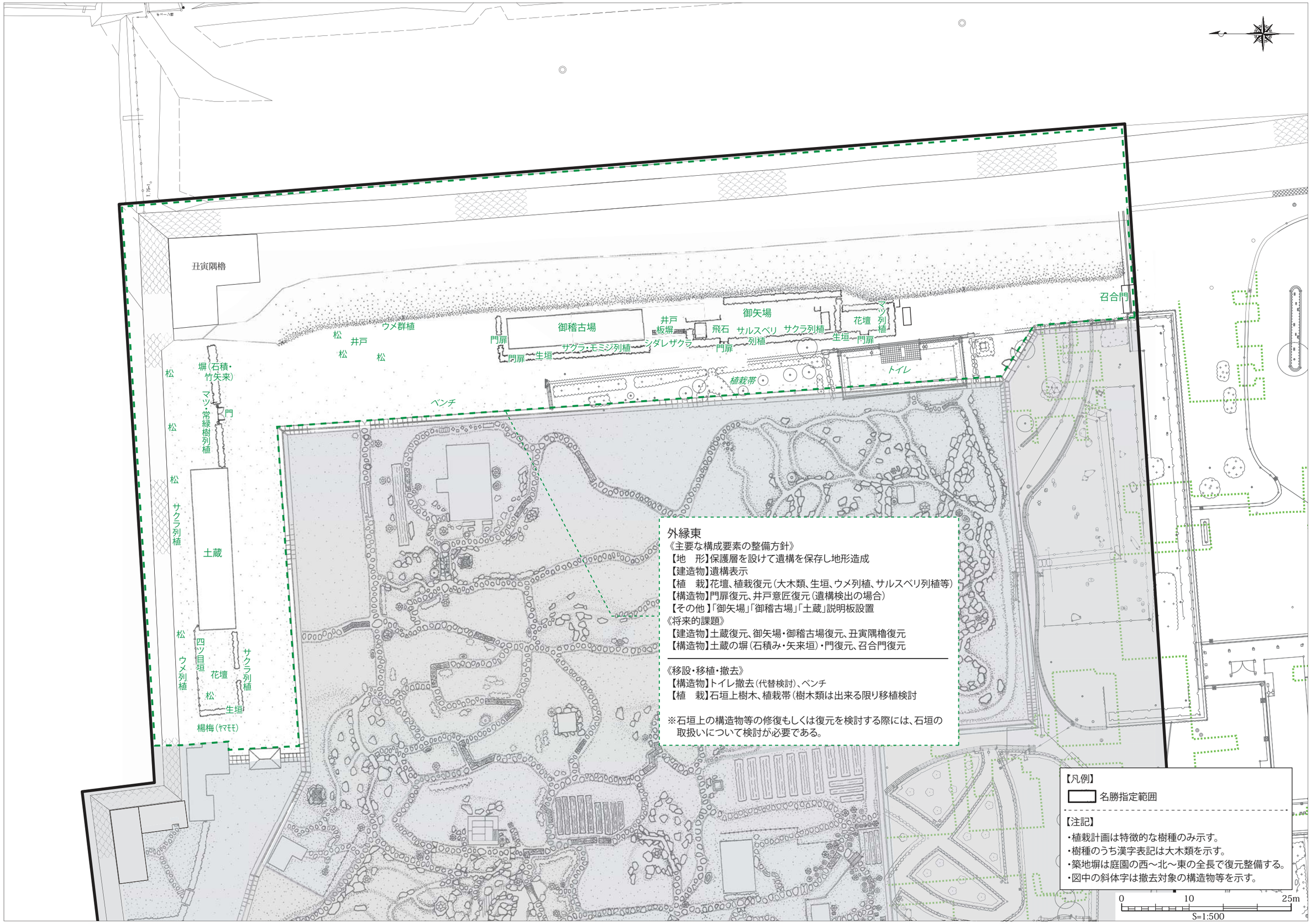
※下図は現況図と「名古屋城二之丸庭園保存修復・整備計画イメージ平面図」（平成25年度作成）の合成である。今後、整備計画（令和2年度策定予定）の内容を受け修正の必要がある。

2-4. 地割区分別整備計画 項目一覧図／外縁西



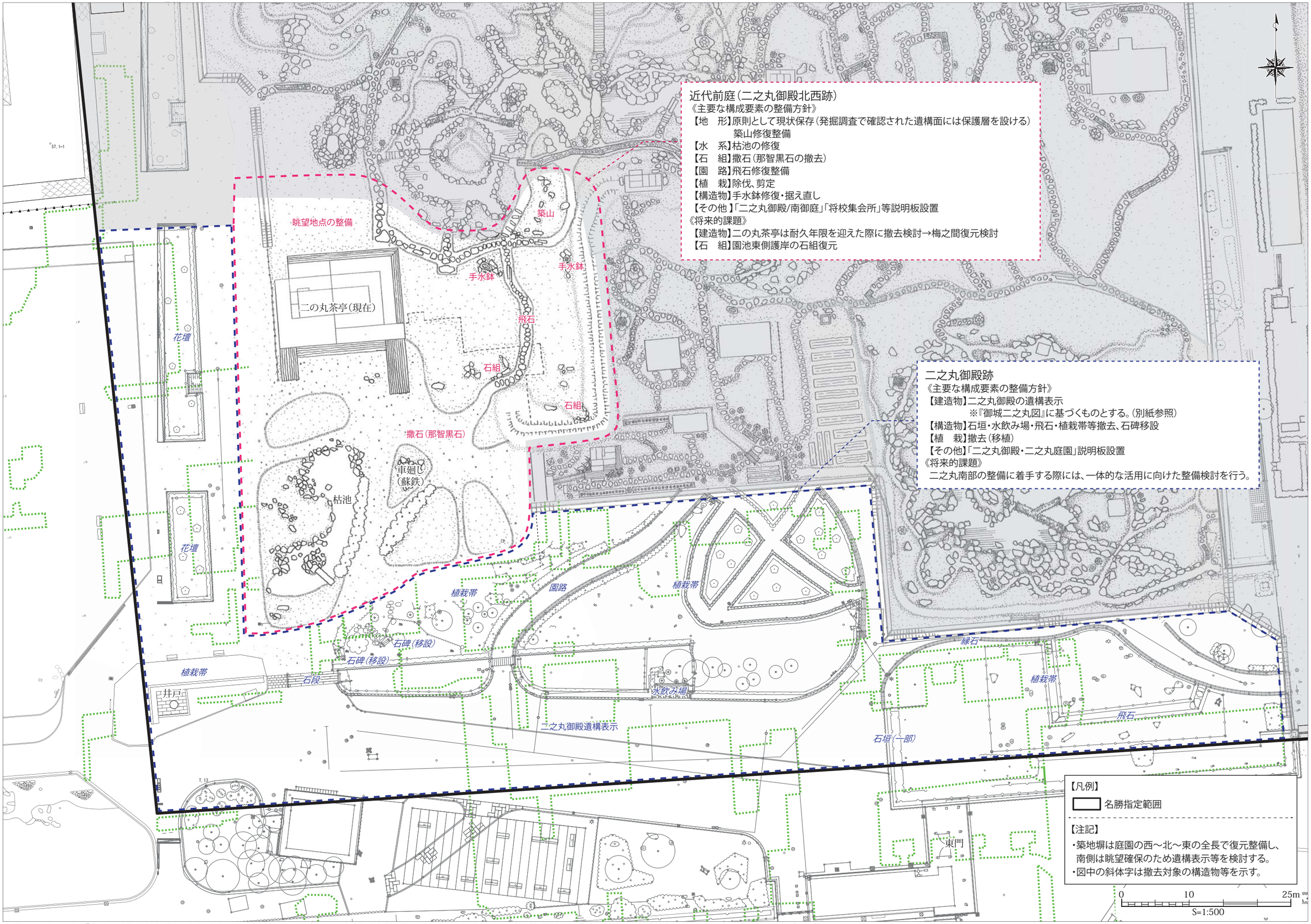
※下図は現況図と「名古屋城二之丸庭園保存修復・整備計画イメージ平面図」（平成25年度作成）の合成である。今後、整備計画（令和2年度策定予定）の内容を受け修正の必要がある。

2 -5. 地割区分別整備計画 項目一覧図／外縁東



※下図は現況図と「名古屋城二之丸庭園保存修復・整備計画イメージ平面図」（平成25年度作成）の合成である。今後、整備計画（令和2年度策定予定）の内容を受け修正の必要がある。

2-6. 地割区分別整備計画 項目一覧図／二之丸御殿跡・近代前庭（二之丸御殿北西跡）

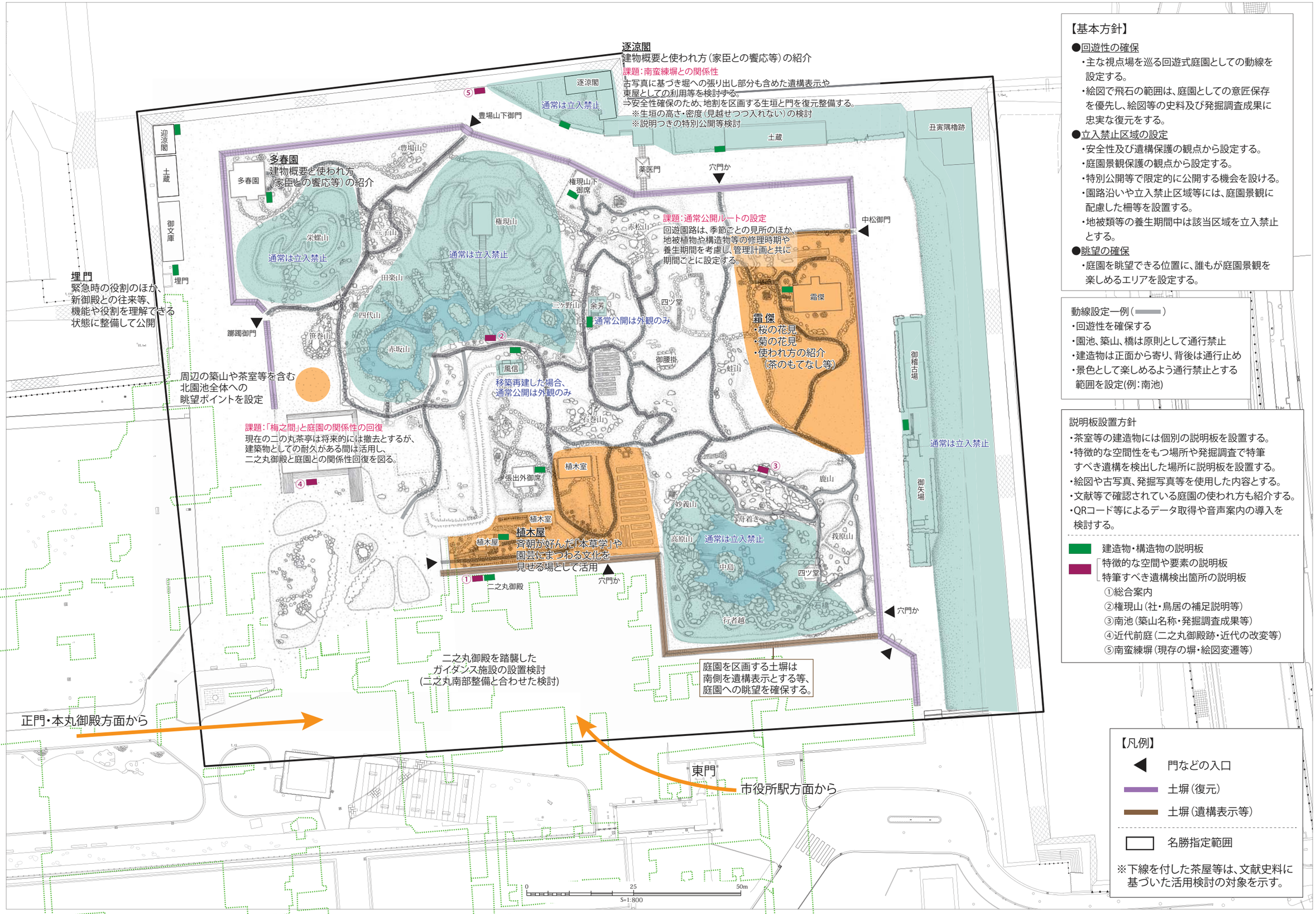


※下図は現況図と「名古屋城二之丸庭園保存修復・整備計画イメージ平面図」（平成25年度作成）の合成である。今後、整備計画（令和2年度策定予定）の内容を受け修正の必要がある。

3.名勝名古屋城二之丸庭園整備計画（建造物整備方針）

※下図は現況図と「名古屋城二之丸庭園保存修復・整備計画イメージ平面図」（平成25年度作成）の合成である。今後、整備計画（令和2年度策定予定）の内容を受け修正の必要がある。

4．名勝名古屋城二之丸庭園　整備計画（公開計画検討図）



【基本方針】

●回遊性の確保
- 主な視点場を巡る回遊式庭園としての動線を設定する。
- 絵図で飛石の範囲は、庭園としての意匠保存を優先し、絵図等の史料及び発掘調査成果に忠実な復元をする。

●立入禁止区域の設定
- 安全性及び遺構保護の観点から設定する。
- 庭園景観保護の観点から設定する。
- 特別公開等で限定的に公開する機会を設ける。
- 園路沿いや立入禁止区域等には、庭園景観に配慮した柵等を設置する。
- 地被類等の養生期間中は該当区域を立入禁止とする。

●眺望の確保
- 庭園を眺望できる位置に、誰もが庭園景観を楽しめるエリアを設定する。

動線設定一例（　）
- 回遊性を確保する
- 園池、築山、橋は原則として通行禁止
- 建造物は正面から寄り、背後は通行止め
- 景色として楽しめるよう通行禁止とする範囲を設定(例：南池)

説明板設置方針
- 茶室等の建造物には個別の説明板を設置する。
- 特徴的な空間性をもつ場所や発掘調査で特筆すべき遺構を検出した場所に説明板を設置する。
- 絵図や古写真、発掘写真等を使用した内容とする。
- 文献等で確認されている庭園の使われ方も紹介する。
- QRコード等によるデータ取得や音声案内の導入を検討する。

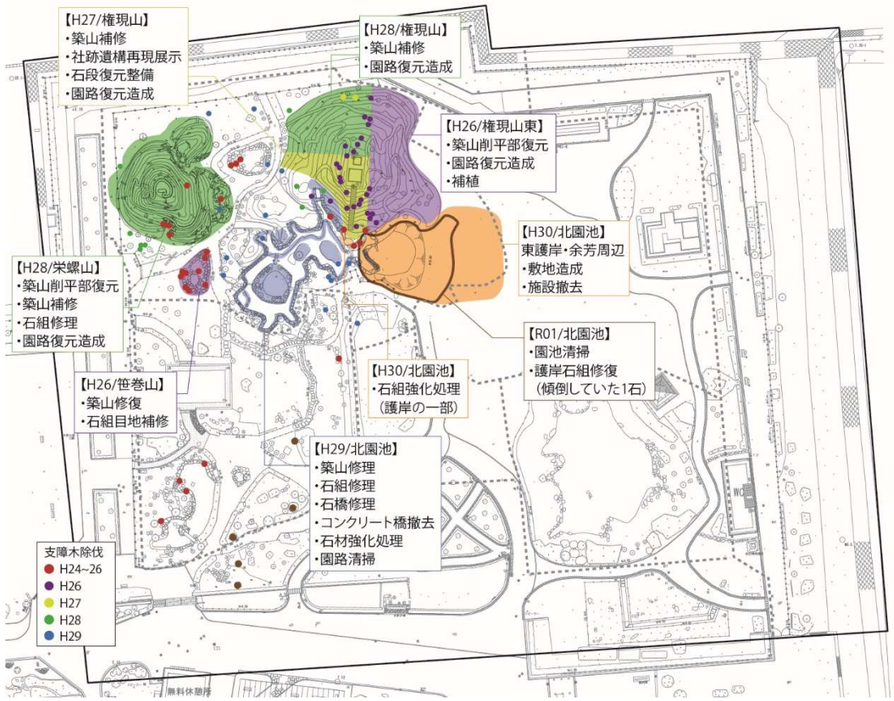
建造物・構造物の説明板
特徴的な空間や要素の説明板
特筆すべき遺構検出箇所の説明板
①総合案内
②権現山（社・鳥居の補足説明等）
③南池（築山名称・発掘調査成果等）
④近代前庭（二之丸御殿跡・近代の改変等）
⑤南蛮練塀（現存の塀・絵図変遷等）

【凡例】
門などの入口
土塀（復元）
土塀（遺構表示等）
名勝指定範囲
※下線を付した茶屋等は、文献史料に基づいた活用検討の対象を示す。

※下図は現況図と「名古屋城二之丸庭園保存修復・整備計画イメージ平面図」（平成25年度作成）の合成である。今後、整備計画（令和2年度策定予定）の内容を受け修正の必要がある。

5.名古屋城二之丸庭園　事業計画検討

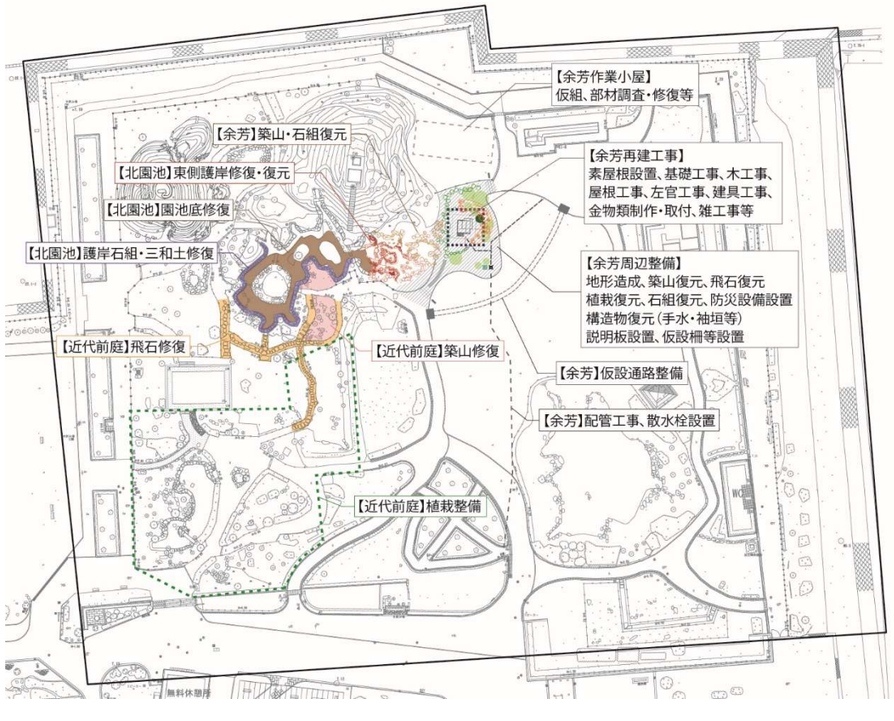
●第 1 次工事-1（北御庭）/修復整備　平成 25 年度～令和元年度



【発掘調査実施地区】
○築山
（笹巻山、栄螺山、権現山、二子山、四ツ代山）
○園池
（北園池、南池）
○建造物
（多春園、余芳、風信、二之丸御殿）
○その他
（外縁、近代前庭）

【主な調査・測量等】
○余芳の移築再建調査設計
○自然科学分析
（三和土・珪藻類・花粉分析）
○南蛮練塀劣化調査
○北園池木橋復元検討
○二之丸南部整備の調査検討
○笹巻山測量図作成
○南蛮練塀オルソ測量

●第 1 次工事-2（北御庭・近代前庭）/修復整備、余芳移築再建工事　令和 2 年度～

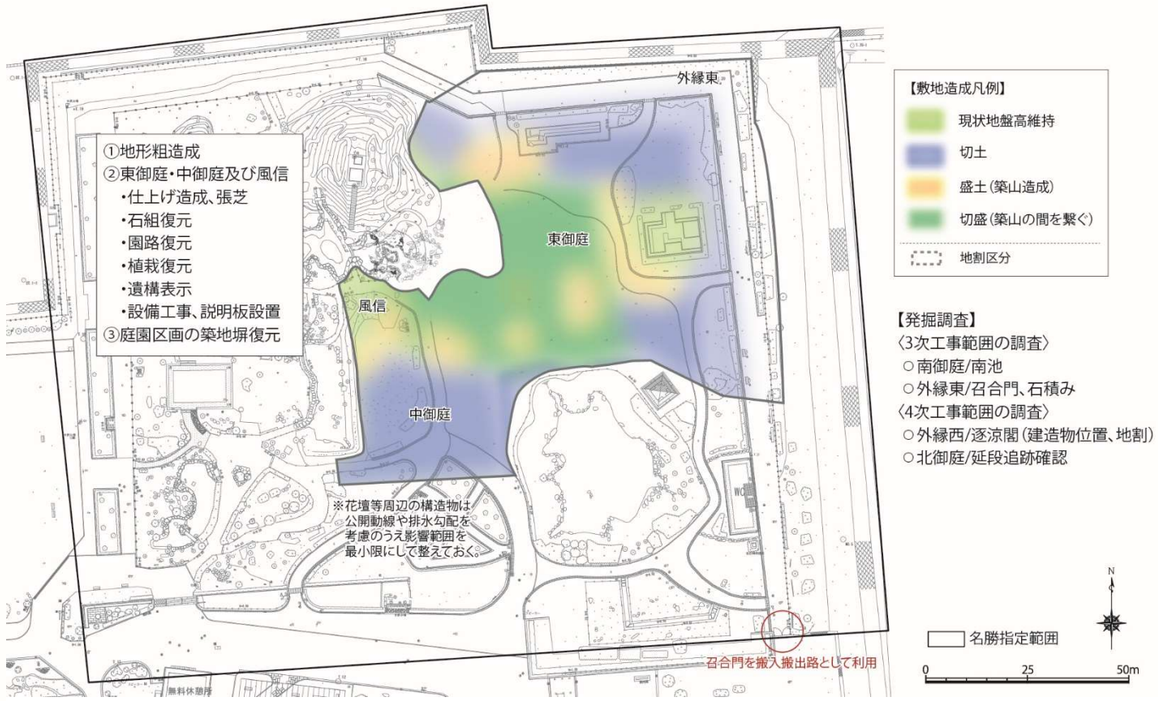


【発掘調査】
〈2次工事範囲の調査〉
○庭園区画の確認
（築地塀・中御座之間）
○外縁西/薬医門の遺構確認
○東御庭/霜傑再発掘
縦横断トレンチ
○北御庭/赤坂山及び周辺護岸
○中御庭/建造物位置確認
南御庭築山境界確認
○外縁東/建造物・築山位置確認

【調査・測量等】
○余芳仮組　※場所は要検討
○三和土材料調査
○南蛮練塀・池底三和土試験施工
○北園池護岸オルソ画像作成

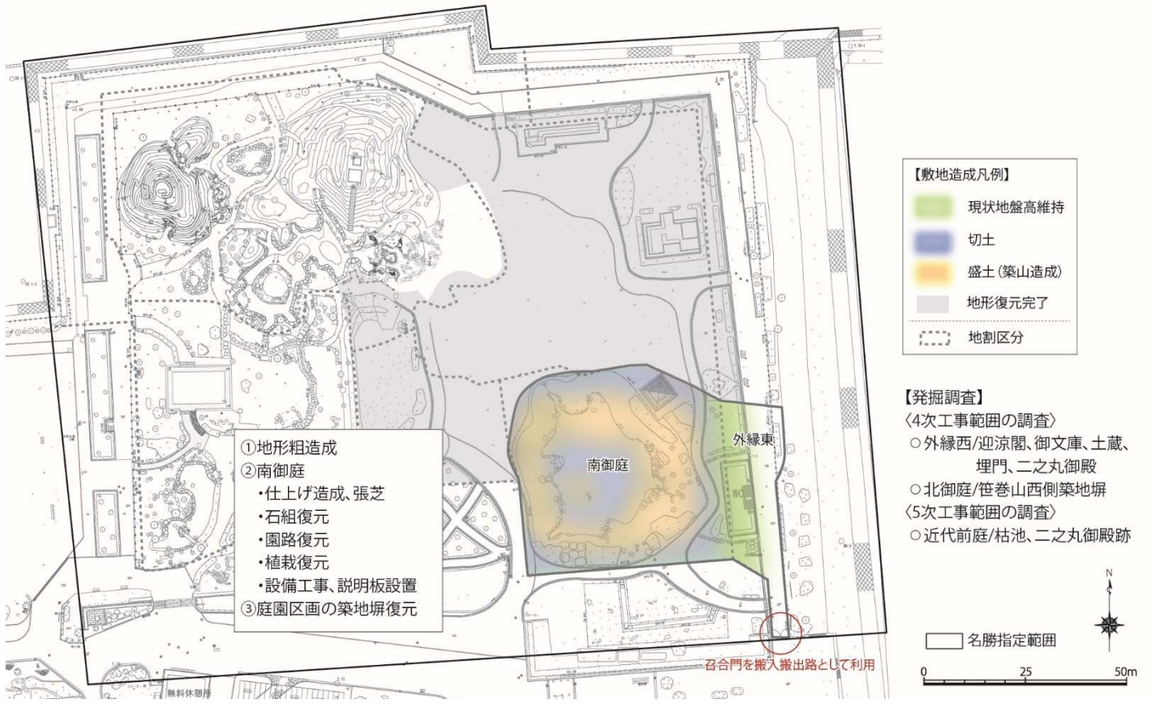
以下、敷地造成を伴う復元計画（明治及び昭和期に盛土されているため各エリアで残土が発生する見込み）

●第 2 次工事（東御庭・中御庭・北御庭/風信・外縁東）



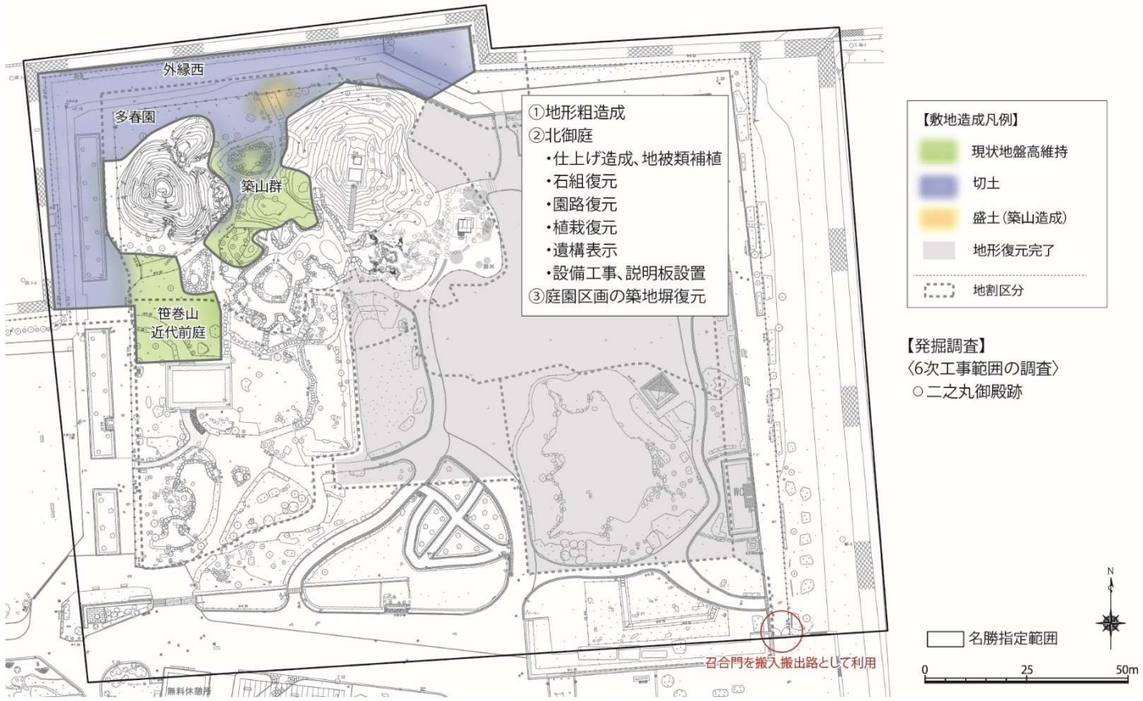
【発掘調査】
〈3次工事範囲の調査〉
○南御庭/南池
○外縁東/召合門、石積み
〈4次工事範囲の調査〉
○外縁西/逐涼閣（建造物位置、地割）
○北御庭/延段追跡確認

●第 3 次工事（南御庭・外縁東）

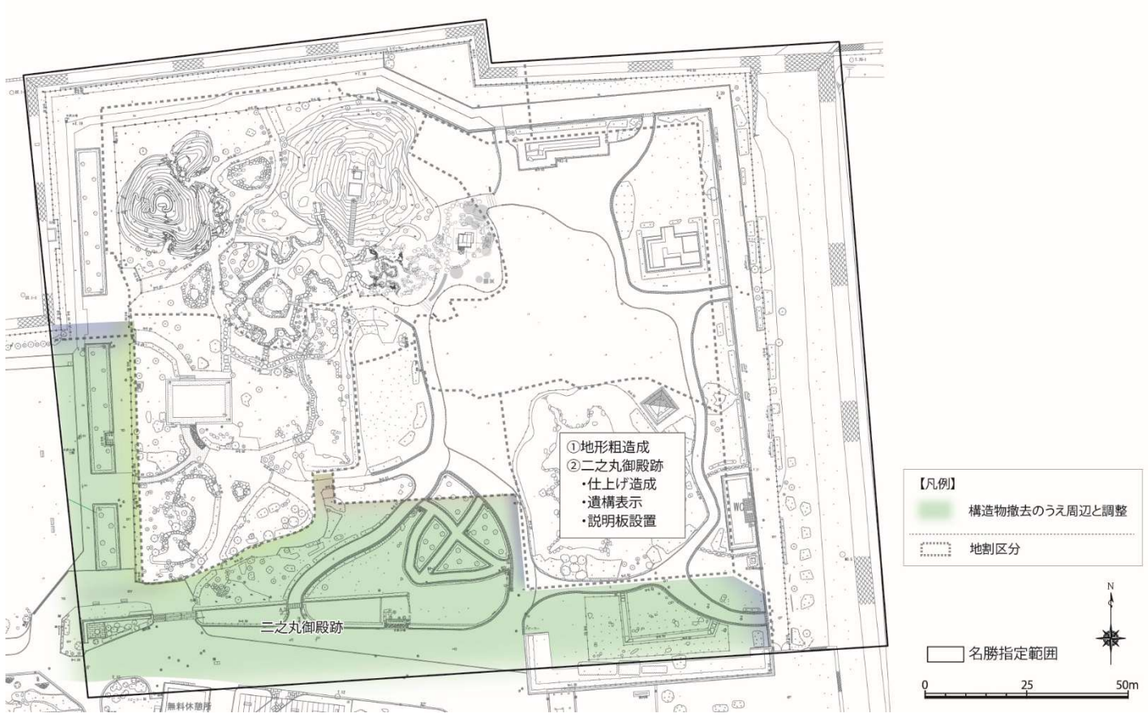
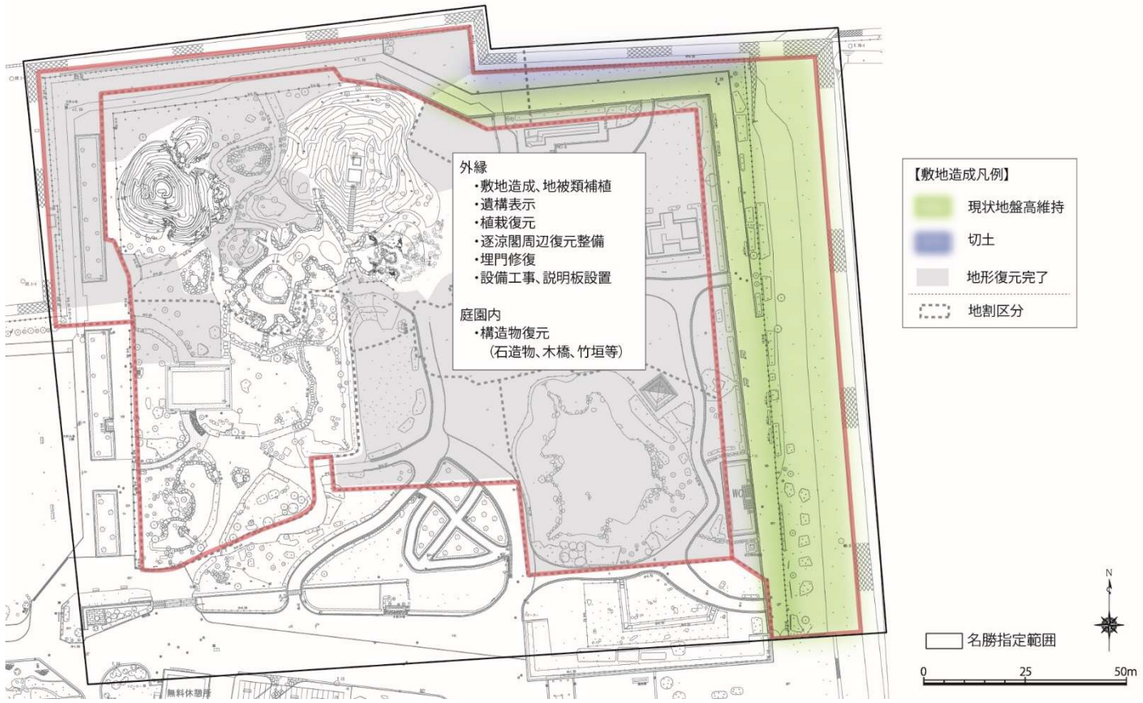


【発掘調査】
〈4次工事範囲の調査〉
○外縁西/迎涼閣、御文庫、土蔵、
埋門、二之丸御殿
○北御庭/笹巻山西側築地塀
〈5次工事範囲の調査〉
○近代前庭/枯池、二之丸御殿跡

●第 4 次工事（北御庭/多春園、築山群、笹巻山（近代前庭）・外縁西）



●第 **6** 次工事（二之丸御殿跡）



●第 **5** 次工事（庭園内構造物等・外縁）